



GIANT KILLING 女子サッカー一部報告 GIANT KILLING

～第33回全日本女子選手権関西大会準々決勝～

スペランツァ高槻にPKで破れる

なでしこチャレンジ(2部)相手に健闘

平成23年度第33回全日本女子サッカー選手権大会関西予選準々決勝は10月10日大阪万博グラウンドで行われ、大阪桐蔭高校はなでしこチャレンジウエスト準優勝のスペランツァ高槻に0-0で引き分ける接戦を演じPK戦にもつれたが11-10で惜しくも敗れ姿を消した。スペランツァ高槻は10月6日に行われた山口国体決勝で千葉を下し見事全国優勝を果たした大阪代表に7人を輩出する強豪チーム。この相手に善戦しPK戦でも3回勝利チャンスを得ながら決めることができなかつただけに悔しさが残る展開となった。

今年目標であったこの大会での全国出場は達成されず、残るは1月に千葉県で行われる全日本女子ユース(U-18)選手権出場のみとなった。

◇準々決勝(10月10日、大阪万博グラウンド)40分ハーフ(カッコは前半のスコア)
大阪桐蔭高校 0-0(0-0)PK10-11 スペランツァ高槻

なでしこチャレンジ(女子社会人の全国リーグ2部)のチームと公式戦で対戦するのは2年前の全日本女子選手権1回戦で対戦した伊賀FCに0-2で敗れて以来。どれくらい戦えるか楽しみな試合であった。前日に日ノ本短大と接戦を演じ体力的には苦しいコンディションだったが出足の良さを見せた。前半20分は攻め続け攻勢となった。しかし得点は奪えず前半は両者無得点で終わった。後半に吉田を入れ攻撃陣を活性化しチャンスを作るが、ミスから危険な場面も作られたもののGK犬飼のファインセーブもあり相手の攻撃を無得点で押さえ引き分けに持ち込んだ。

後攻となったPK戦では最初の5人が全て成功。サドンデスに入り相手が外しこれを決めたら勝ちというチャンスが3回あったがものにすることができず最後は力尽きた。大金星を逃し、このチームの目標が達成できず残念だったが、日本代表U-19で松川が抜け、怪我で草野を欠いた状態でここまで社会人のチームを追い詰めた自信は財産となった。

◇2回戦(10月9日、洛西浄化センターグラウンド)40分ハーフ
大阪桐蔭高校 1-0(0-0)日ノ本短期大学(兵庫)

【得失点】77分池田

なでしこリーグ経験者や全国の強豪高校から構成される日ノ本短期大学は戦術レベルが高く攻略が非常に難しい

相手だった。選手交代やシステム変更など6パターンの変化を与えようやく残り3分でゴールをあげることができた。攻撃のミスが多く、チャンスをものにできず課題が多い試合となった。

◇1回戦(9月25日、水口スポーツの森)40分ハーフ

大阪桐蔭高校 8-0(4-0)栗東リプロ(滋賀)

【得失点】7分、14分、16分濱本、17分知念、45分濱本、51分松川、60分八雲、70分岸川

全国大会につながる大事な予選1回戦ということで緊張のなかキックオフを迎えた。前半7分、CKから濱本がヘディングできめた得点を皮切りに17分までに4得点を奪う。しかし、それからは相手陣地内でプレーするものの、なかなかチャンスをつくることができない。後半5分濱本のゴールにより立ち直り、そのあとも圧倒的に攻め続け8-0でタイムアップとなった。

全日本大阪予選準優勝

◇決勝(8月28日、大阪体育大学)40分ハーフ

大阪桐蔭高校 1-3(1-1)大阪体育大学

【得失点】10分松川、39分、50分、55分失点

大阪桐蔭の卒業生が多くプレーする大阪体育大学に多くのチャンスをつくるも逆転負けを喫し初タイトルを逃した。前半10分フリーキックから前に飛び出した松川がキーパーとの1対1をしっかりと決め先制点を奪う。このまま前半終了かと思われたが39分にFKからヘディングで合わせられ同点ゴールを決めきめられた。後半立ち直りたい大阪桐蔭だったが49分ドリブル突破からのシュ

ートを泊の姉に、5分後には大阪桐蔭卒業生佐藤に弧を描くループシュートをきめられる。その後何度か得点チャンスを生かすことができず大体大のかたい守りに得点をあげることができずそのまま試合終了となり惜敗した。

関西Liga

1stラウンドを2勝1分け2敗で終え5~8位決定戦に進み、1回戦で岡山作陽高校に4-2で勝利。次の日5位決定戦で吉備国際大戦は4-2で勝利し5位で終え目標の優勝に届かなかった。

アジア大会優勝に貢献

松川日本代表

3年生の松川智(登美丘西-ヴィスポさやま-深井FC-ガンバ大阪堺出身)が来年ウズベキスタンで行われるU-20女子ワールドカップの予選を兼ねたU-19女子アジアユースに参加する日本代表に選ばれた。大阪桐蔭から代表選手が出たのは初めて。女子日本代表がワールドカップを優勝し、なでしこブームになっている中、1つ下のカテゴリーにも注目が集まっている。大会は10月8日から16日までベトナムで行われ、日本は優勝を飾り朝鮮民主主義人民共和国、中国とともに世界大会出場の権利を得た。

イタリア人コーチ

8月9日、イタリアからマルコさんを招いて練習を行った。攻撃を中心に遅攻と速攻のトレーニングを行った。攻撃にこだわりには定評のある国とあって学べるものがとても多かった。昼食の時間には2年生8人による出し物でマルコさんには、大いに日本を楽しんでもらえた。

大阪高体連秋季大会

◇一次リーグ9月18日14-0松原高校、19日25-0勝山高校◇決勝リーグ11月6日星翔(大産大)、11月20日大商学園(J-Green 堺)